



### 新宮つぼみ保育園年報 第14号

2024年(令和6年)8月21日 発行

発行/編集

社会福祉法人 輔仁会  
新宮つぼみ保育園

〒811-0124 糟屋郡新宮町新宮東5-1-18  
<http://www.hojinkai.ed.jp/s-tsubomi/>



## 輔仁会は「還暦」を迎えます

理事長 大浦 純平 (元:さわらび保育園 保父 / 前:つぼみ保育園 園長)

当法人は昭和40年に設立され、来年で満60年を迎えます。そして運営する保育園はつぼみが60歳、さわらびが55歳、新宮つぼみが20歳になります。昭和38年に福岡市は保育施策として市が用地を準備して保育園開設希望者を募る、いわゆる福岡方式を打ち出しました。それに応募した私の母は市の委託を受け、法人を設立し「干早」に「つぼみ保育園」を開園しました。次に、昭和45年に、田代にて開園を委託され、別法人を設立し「さわらび保育園」を開園しました。

私は昭和52年に会社を辞して保育士資格を取得し、54年保父としてさわらび保育園に就職しました。四年間保育士としての仕事をした後、58年につぼみ保育園の園長に就任しました。

その後、平成15年につぼみとさわらびの法人を合併し「社会福祉法人 輔仁会」が新たにスタートし私が理事長を拝命することとなりました。平成17年には新宮町の公募に手を上げ、難関を突破し「新宮つぼみ保育園」を開園しました。

私は法人に入職し46年が過ぎました。これまで、多くの優秀な職員の皆様を支えられ、良い保育が継続できてきたことに心から感謝いたします。また、今年二月には後期高齢者となりました。もうそろそろ年貢を納めても良いのかと思つています。後進に確りと道筋をつけて輔仁会からの卒業を準備してまいります。後少し宜しくお願い致します。



## 宜しくお願い致します

副次長 大浦 哲平

保護者の皆さま、こんにちは。いつも園の運営にご理解ご協力をいただきありがとうございます。本年7月から輔仁会の法人本部職員として働くことになりました大浦哲平と申します。6月末までは一般企業に勤めておりまして、昨年度までは一保護者として輔仁会のつぼみ保育園でお世話になっておりました。つづきの間までわが子と一緒に登園していた保育園で、お世話になっていた先生方と一緒に仕事をすることになり、正直まだ少し不思議な気持ちを持ちながら毎日過ごしています。

いきなると考えています。(先月から、各園の各クラスを回りながら、保育補助として先生方のお手伝いをさせて頂いていただき、実際の保育に直接触れる機会をいただいています。保育士資格についても現在勉強中です。)

## 世界のこどもたちが安心してすごせますよう

統括次長 大浦まゆみ (元:つぼみ保育園 事務主任 / 前:新宮つぼみ保育園 園長)

世界では戦禍がやまず幼子をはじめ人々が被害を受ける現実があります。この世に生まれたばかりの子どもは、生きるために、ただ親の乳を求め、親の懐で安心して眠りたいだけなのに、自分の周りの環境が不安と恐怖に満ちた世界だとしたら、いったいどのように育つでしょうか。保育園は、もう少し成長したお子さんをお預かりしますが、幼児期にはやはり「安心して過ごす」ということがとても大切な

優しい言葉で関わり「あなたのあはれがママを受け入れる」ことが伝わるれば、子どもは人を信頼し、自分を発揮して成長することができると信じています。この温かさの中で子どもたちが成長しますように、また、世界中に平和が訪れますようにと祈つて



## 楽しい思い出。

### 親子で笑顔の時間を。

2024年度 父母の会 会長 山口 純平



今年度は4年に1度のオリンピック、パラリンピックが今年に開催されています。日本全体が盛り上がっていますが、それに負けないくらい子供たちの元気な声が響いているのを朝夕の送迎で感じています。ただ、連日の猛暑の中、体調を崩しやすい時期でもありますが、水分補給や適度な休憩など熱中症対策をおこなながら、子どもたちが元気に過ごせるような環境を整えていきたいと思つています。

昨年の5月に、コロナウイルス感染症が5類に移行して1年が経過し、生活も正常化を取り戻してきました。今年の父母の会においても、以前のように活発的に活動できればと思つています。しかしながら時代や環境も

変化してきた中で、今までの取り組みに加え、今後コロナ後の新しい形の取り組みを行なっていければと考えています。9月には『ボランティア清掃』10月には『運動会』が行われます。また11月には『新宮つぼみこマルシェ』も開催いたします。子供たちと一緒に楽しい思い出が作れればと思つています。

保育園に通う中で、親子でたくさんの思い出や会話ができるようなイベントや行事を行えればと考えています。子供たちが笑顔で毎日が過ごせるように、そして活動に携わった方々が笑顔になれるよう活動して参りますので、どうぞご協力のほどよろしくお願い致します。

新宮町の社会福祉法人施設で形成された法人連絡会は、発足して8年目に入りました。勿論新宮つぼみ保育園もその一員で、地域に何か役に立ちたいという思いで活動を行つています。今までに「ふくしの相談窓口」「社会福祉体験」「わくわくキッチン」「フードドライブ」「フードパントリー」などを行ってきました。

そんな活動をする中、夏休み公民館を開放し、子ども食堂を行つている地区の存在を知りました。そこではボランティアの大人たちが午前中1時間子ども達の勉強を見守り、その後昼食を提供し、少し



70食程の昼食が準備され、子ども達が美味しく食事をしていました。

## 新宮町の福祉

園長 藤井 由理



て縁あつて鹿児島島のフードバンクより、ハムやソーセージ、ジュース等を送ってもらい、法人連絡会を通して子ども食堂に提供しています。貢献度はまだまだ微力ではあります。法人連絡会の存在は、町の福祉を考えたり行動を起こすきっかけになったりしているのではないかと思っています。この町の人々がみんな幸せであるために、これからも自分達に何が出来るか、考えていきたいと思つています。

# 福岡県保育協会保育士会 常任委員として全国へ

主任保育士 土谷賢吾

2023年4月より糟屋郡保育士会の常任委員となり、同時に福岡県保育士会の食育推進部長を務めるようになりました。また、全国保育士会食育推進委員会の九州ブロックの委員にも選出され、東京で行われた全国保育士会食育推進委員会運営委員会にも参加しています。先日は、千葉県で行われた全国食育研究会の司会を務めるなど大きな舞台で貴重な経験をすることが出来ました。

初めて糟屋郡の常任委員会や、福岡県の常任委員会に参加した時は何をしていたかよくわからず、話の内容を理解することに必死でした。しかし、参加回数を重ねていき、他園の先生方と交流を深めながら保育士会への理解が深まってきました。

常任委員として、糟屋郡保育士会や福岡県保育士会、全国食育推進委員会主催の研修の



普段は子どもたちの前に立って話していますが、大勢の先生方の前に立って話すことは滅多にないので、良い経験となりました。

## 2024年度 職員構成

(8月1日現在42名)

園長 藤井 由理

| 本園   |                                                 |
|------|-------------------------------------------------|
| 主任   | 土谷 賢吾                                           |
| 副主任  | 中村 千里                                           |
| 給食主任 | 小祿 由香利                                          |
| 事務主任 | 大浦 有平                                           |
| もも1  | 中村 千里(*)<br>中岡 愛菜花・永園 明依理<br>岡崎 久美子・増丸 伴美       |
| もも2  | 武内 美樹・稲邊 舞花<br>牧島 晴香                            |
| うめ   | 山口 歩美・中山 遥<br>永末 映里                             |
| すみれ  | 山本 紗代・津留 菜里奈                                    |
| れんげ  | 阿部 麻央・長友 隆太郎                                    |
| つくし  | 山内 香彩・吉富 美緒                                     |
| フリー  | 日野 純子・馬場 小純<br>神谷 晴子・成清 千尋<br>福田 直美             |
| 給食員  | 小祿 由香利(*)・桐島 知子<br>脇谷 浩美・則本 由美子<br>徳永 まゆみ・松田 知視 |
| 事務員  | 山口 和加奈                                          |
| 保育補助 | 堀田 登代美                                          |
| 用務員  | 長野 よし子・枝元 正昭                                    |
| 分園   |                                                 |
| 分園主任 | 中岡 千晶                                           |
| もも   | 中岡 千晶(*)                                        |
| うめ   | 岩本 海奈                                           |
| フリー  | 北村 知子・横大路 晴子<br>片岡 真理子・北村 祥子<br>八尋 雅世           |

(\*)は再掲

## 2024年度 父母の会役員

会長 山口 純平 (れんげ)

|     |             |             |  |
|-----|-------------|-------------|--|
| 副会長 | 岡本 真輝 (れんげ) | 濱嶋 大樹 (れんげ) |  |
| 会計  | 石橋 和忠 (れんげ) | 森川 俊亮 (もも2) |  |
| 委員  | 新鋼 ゆうみ (うめ) | 寺師 悠 (うめ)   |  |
|     | 今井 美希 (つくし) | 沖永 サラ (つくし) |  |
|     | 田中 早紀 (れんげ) | 松山 萌佳 (れんげ) |  |
|     | 柚上 忠利 (すみれ) | 落合 一樹 (すみれ) |  |
|     | 松永 美幸 (すみれ) | 梶木 未彩紀 (うめ) |  |
|     | 顧問          |             |  |

内容を考えたり、会場設営、受付などの運営側として皆さんにより良い学びの場を提供したいという思いで取り組んできました。様々な研修会に参加させていただき、自分自身もたくさん学びを得たり、保育について最新の情報をいち早く知ることが出来たりしたのはもちろんですが、何よりも全国各地の他園との繋がりが出来たことが一番の収穫ではないかと思っています。会話の中で園の現状を共有したり、面白い保育の取り組みを聞くことができ参考にしたりするなど、たくさんの方の発見がありました。そして、全国的に有名な講師の方と直接話をする機会ができ、研修会では聞けなかった講師の方の専門的な考え方や、深い話があったことも大きな収穫となりました。

自園の中にとどまっていただけでは知れなかったことをたくさん知ることができ、いい経験をさせてもらっています。任期は今年度までになりますが、精いっぱい取り組んでいきたいと思えます。

## 保育園の今

### 『朝のおやつ』から『牛乳』へ

分園主任 中岡千晶

今年度より年少組(0・1・2歳児クラスでは朝のおやつ)を廃止し、水分補給及び栄養補給のための「牛乳」を飲んでもいいです。

始めた頃は、栄養士が計算した100mlの牛乳を飲み干すことが出来ない子が多く、一日の摂取カロリーは足りているだろうか?と考えることもありましたが、子どもたちが牛乳を飲むことに慣れてくると、しっかりと100mlの牛乳を飲み干せるようになり、おかわりをするようになった子もいます。摂取カロリーの問題は解消されました。

また、おやつ時間がなくなったことでそこにかかる時間が短縮され、継続した保育時間が確保できるようになっています。例えば、朝はうたを歌ったり遊戯をしたりする時間が長く取れるようになりました。散歩先の公園で少し先の滑り台の場所まで行ってみたり、プールあそびの中で色水あそびを展開してみたりとより時間をかけて内容の濃い保育が出来ていると思います。これからも充実した内容の保育を計画していきます。



### 『身近な生き物に触れる』

保育士 阿部麻央

子どもたちと園庭で遊んでいる時に、園庭の田んぼの隅っこで蛙が産卵しているのを見つけた。子どもたちの中には蛙と聞いて、気持ちが悪いと嫌がる子もいましたが、卵を虫かごにそっと優しく入れて、クラスで観察する事にしました。数日経つて卵が孵り、小さくて可愛いくしが生まれてきました。子どもたちと図鑑で調べるとおたまじやくしは何でも食べる雑食で、お米やきゅうりをあげて育てました。少し身体が大きくなってきたのでおたまじやくしを田んぼに放つと子どもたち

ちは本当に手や足が生えるのかな?「つ蛙になるのかな」と待ち遠しい様子でした。ある日、おたまじやくしから足が生え、手が生え、いつのまにか尾が消えて、小さな蛙になるとあの時の赤ちゃん蛙になった!とお祭り騒ぎで、目を輝かせながら手の平にのせて観察していました。他にも、田んぼや畑には糸トビやハシムヨウなど珍しい生き物がやってくるので子どもたちと観察しています。昔は身近に感じていた生き物も、今の子どもたちは触れる機会が少なくなっているように感じます。保育の中で生き物や植物を実際に見たり、触れたり、育てたりすることで、自然の持つ不思議さや、面白さなどを傍で伝えていけたらと思っています。



### 『卒園児保育士第1号!』

保育士 永園明依理

私は新宮つばみ保育園の第3回卒園生で、2024年度から保育士として働いています。私が保育士になろうと思ったきっかけは様々ありますが、一番は幼い頃から保育士に憧れたということ。私は当時人見知りや激しく、絵本を読むことが好きな子どもでした。そんな私に先生は優しく接してくれて絵本の読み聞かせをしてくれたことを今でも覚えていています。その頃から漠然と将来は保育園の先生になりたいと思っていました。保育士になり、様々な園を実習したり情報を集めたりしていましたが、私は新宮つばみ保育園で働きたいという思いは変わりませんでした。実際に今年度から働き始めて、子どもの成長を間近で見ることができたり、先輩方にサポートしていただきながら毎日楽しんで保育をすることができたりなど、とてもやりがいのあるお仕事だと感じています。新宮つばみ保育園卒園児の保育士第1号として働くことができるとても嬉しく思います。これから一生懸命頑張っていきたいです。

